

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立
と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝10月の行事計画＝

- | | |
|--------------|--------------|
| 1日（木）十五夜茶話会 | 26日（月）理髪（3階） |
| 8日（木）誕生会 | 30日（金）選択食 |
| 16日（金）選択食 | |
| 19日（月）理髪（2階） | |
| 24日（土）運動会 | |



＝11月の行事計画＝

- | | |
|--------------|--------------|
| 4日（水）文化祭 | 23日（月）理髪（3階） |
| 11日（水）誕生会 | 27日（金）選択食 |
| 13日（金）選択食 | |
| 16日（月）理髪（2階） | |
| 18日（水）寿司の日 | |



＝事故を未然に防ぐ 報告・連絡・相談の徹底＝

介護や医療の現場では業務の適正な執行を図るために、「ほうれんそう」という格言の徹底を図ることが重要です。

これは「報告・連絡・相談」の頭文字をとり「報・連・相」と呼んでいるものです。

それぞれの言葉の役割としては

【報 告】

任された業務や担当した仕事の進捗状況や結果、トラブルがなかったかなどを、上司や同僚、部下に伝えること。

【連 絡】

業務に関する情報や発生した事項、遂行する内容を、社内で関係する人物に伝えること。

【相 談】

業務をする上で迷ったことや困ったことについて、周囲にアドバイスや意見を聞くこと。問題解決に向けて話し合うこと。

つまり「ほうれんそう」とは円滑に業務をすすめるために必要なコミュニケーションを行い、社内の人と適切な情報を共有し、理解を深めることです。

介護や医療の業務は人間の生命や日常生活の支援を、職員一人ひとりが責任を持って行動する使命が負わされていますので、独自の勝手な判断で行動しますと、場合によっては大きなミスや事故、または利用者の方の状態が悪化してしまう可能性もあります。

もし、自分で判断が出来ないような複雑な状況に遭遇し、介護業務に不安を感じた時は、直ちに同僚や上司に報告し、関連する担当部署との連絡を行って、適切な介護業務に当たれるよう、何でも相談できるシステムの構築が基本となっています。

特に経験の浅い職員は短期間に介護業務の基礎を習得しなければならず、自分の行動に対しては何でも相談して、上司や先輩の助言を受けるなり、常に適正な行動と事故発生を未然に防ぐことを徹底していくことが求められていますので、常に適正なチームワークによる業務が遂行できるよう心掛けています。

施設を利用されている利用者の皆様は要介護度が高くなっており、特に認知症が進んでいられる方は、転倒などによる事故の危険性が常に高く、事故を完全に無くすことは困難と言われてはいますが、ご家族の皆様に安心して頂けるように、組織全体で「報告・連絡・相談」の徹底を図り、介護サービスのさらなる向上に努めてまいりたいと思います。

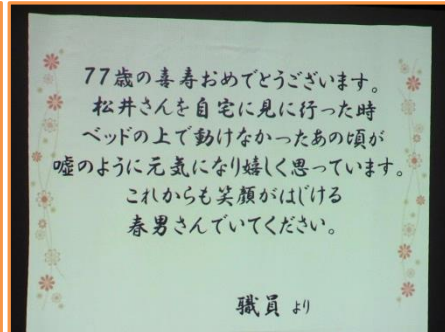
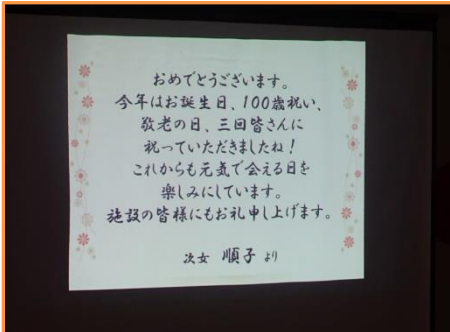
敬老会

いつも
ありがとう



9月16日に敬老会を開催しました。

例年ですと井上信治衆議院議員他、多数の来賓者やボランティアさんとともに、お祝いをするのですが、今年は施設内だけでお祝いしました。
また、職員同士も3密を避けなければならないことから、ビデオレターを作成し、利用者の皆様に観て頂くことにしました。



=1階食堂でのお食事を再開しました=

発熱の利用者様が散見されたことから、8月12日より、食堂でのお食事を中止し、各フロアでの食事を提供しておりましたが、利用者様の症状も治まってきたことから、2か月ぶりに1階食堂でのお食事を再開しました。



1階フロアで新たに仲間になった、大ちゃん、中ちゃん、小ちゃんもやっと、お披露目することが出来ました！



=新しい主治医のご紹介=

10月16日より、青梅療育院の主治医が高沢病院 院長の奥井重徳先生になりました。隔週木曜日・隔週土曜日、週1回の診療となります。

【奥井重徳医師 profile】

医療法人社団 久遠会 高沢病院 理事長・院長

- ・日本外科学会：外科専門医
- ・日本消化器外科学会：認定医
- ・日本消化器内視鏡学会：専門医
- ・日本医師会認定産業医
- ・日本医師会認定健康スポーツ医
- ・インフェクショナルコントロールドクター